

〈要約〉

面接試験につまずかないで・・・内定獲得を目指そう

**I will aim at private decision acquisition without
an oral examination's going wrong**

桑原賢二
Kenji Kuwahara

内定獲得までには、第1に就職登録サイトへの登録、第2は書類選考、更に筆記試験というプロセスを踏む。そして最後が面接で終わる。おおむね面接も3～4回。内容もグループ・個人・グループディスカッションと様々な関所を通過しなければ内定は困難。

最近の学生は、面接は本当に苦手。終わって帰ってくる学生の殆どは、頭を抱えて戻ってくる。そこで、本学では事前に、このように面接指導をおこなっている。面接は試験ではない、自分という商品をつもりで、PRする合コン見たいな場。そういう場であるから、面接官に可能性を感じさせて、企業が求める個性を演じてきなさい。要は、面接官が自分を「欲しい」と思わせることではなか。

現実今の企業は本当に「欲しい」人材しか採用しない。人材ではなく「人財」と考える企業も多くなってきている。人財を企業は求めています。宝をもっている人、宝を取りたいと考えています。面接はその人財を発表する良い機会。苦手意識を克服して前向きに取り組んでいきたい。